

1. 現代社会学部固有科目について

「学部固有科目」とは、現代社会学部生のために開講される専門教育科目です。学生便覧(履修ガイド)に掲載されている学部固有科目一覧表の中から、履修したい科目を選択し、卒業までに必要な単位を計画的に修得する必要があります。必要な科目には一定のルールがあります。以下内容を確認し、よく理解しましょう。

- 卒業に必要な学部固有科目単位数は **80 単位** です。学部固有科目には、必修科目、選択必修科目、選択科目の 3 種類があります。
- 必修科目(学部共通必修科目・専攻必修科目)は卒業するまでに必ず履修をして修得する必要がある科目です。不合格となった場合は、翌年以降に再履修をして修得する必要があります。
- 専攻選択必修科目は専攻で指定された複数の科目から選択し、卒業するまでに必ず決められた単位数以上を修得する必要がある科目です。
- 選択科目は学部固有科目の中から決められた数以上の履修をして修得する必要がある科目です。
- 専攻選択必修科目の修得単位数が決められた数を超えた場合、その超過単位数は選択科目の修得単位数に加算されます。

【学生便覧 学部固有科目一覧表の見方】

【例:社会学専攻】※専攻によって科目は異なりますが、マークの種類などのルールは変わりません。

		1年次	
		第1 Semester	第2 Semester
		春学期	秋学期
【学部共通必修科目】◎の科目 1年次春学期:「キャリアデザイン」 「社会学入門」 「現代社会学」 1年次秋学期:「コミュニケーション・スキル」	◎キャリアデザイン(2)		
	◎社会学入門(2)		
	◎現代社会学(2)		
			◎コミュニケーション・スキル(2)
【専攻必修科目】★の科目 1年次春学期:「社会調査入門」 1年次秋学期:「教育問題と学校の社会学」 「メディア社会学」	★社会調査入門(2)	★教育問題と学校の社会学(2)	
	現代社会と福祉I(2)	★メディア社会学(2)	
	文化人類学入門(2)	生涯学習論I(2)	
【選択科目】マークのない科目 1年次春学期:「現代社会と福祉I」、「文化人類学入門」 1年次秋学期:「生涯学習論I」、「ボランティア論」、「社会調査論」 「コミュニティ心理学」、「文化人類学方法論」、「博物館概論」		ボランティア論(2)	
		社会調査論(2)	
		コミュニティ心理学(2)	
		文化人類学方法論(2)	
		博物館概論(2)	

2. 全学共通科目について

「全学共通科目」とは、所属学部や研究領域を問わず全学生が履修する科目です。教養科目とも呼ばれ、学部固有科目と並行して学び、幅広い知識と教養を身につけます。全学共通科目についても学部固有科目同様、全学共通科目一覧表の中から卒業に必要な単位を計画的に修得する必要があります。

■卒業に必要な全学共通科目の単位数は **44 単位** です。全学共通科目には選択必修(30 単位)、選択(14 単位)の 2 種類があります。

■選択必修科目は、以下の各科目群からそれぞれ決まった数以上の単位を修得する必要があります。

・学びの実践(発展ゼミ・テーマ指向型科目)またはグローバルコミュニケーション(外国語演習)から 2 単位

・グローバルコミュニケーション(外国語基礎)から英語を 4 単位、第二外国語を 4 単位

・スポーツ・健康(スポーツ実技)から 2 単位 ※実技は各学期で 1 科目しか履修できません

・スポーツ・健康(学びのエッセンス・テーマからの学び)から 2 単位

・自然の探求(学びのエッセンス・テーマからの学び)から 4 単位

・人間の探求(学びのエッセンス・テーマからの学び)から 4 単位

・社会の探求(学びのエッセンス・テーマからの学び)から 4 単位

・複合領域(学びのエッセンス・テーマからの学び)から 4 単位

■選択科目は 14 単位修得する必要があります。各科目群の選択必修科目を超過して修得した場合、超過分は選択単位に加算されます。

(例)自然の探求の科目を 6 単位分修得した場合、超過した 2 単位分は選択科目の修得単位数に加算されます。



注意

全学共通科目と学部固有科目の間で単位が行き来することはありません！

履修した科目によって、どの区分の「要卒単位」が増えたか履修登録前後に PDF にダウンロードして確認する習慣を身につけてください。

3. 時間割作成のポイント

大学の時間割は自分で作成し、履修を登録する必要があります。

以下手順に沿って、自分の時間割を作成しましょう。

1 学期に履修登録できる最大単位数は、24 単位です。

(スポーツ科目を履修した場合は 23 単位)

【時間割作成のポイント】

間割の作成に必要な資料は以下の5つです。

- 学生便覧(履修ガイド)
- 時間割表
- 時間割早見表
- 履修時間割計画表
- シラバス

新入生向けホームページからダウンロードできます。



新入生ガイダンス時に班分け(アルファベットの A~L の 12 班に分かれる)をお伝えします。

1. 「2026 年度 現代社会学部 1 年生時間割早見表」を見て、自分の班(アルファベット)が履修できる学部固有科目を確認します。

曜日	1	2	3	4	5	履修科目 (※卒業単位に含まない)
月	社会学 (A・B・C・D班)	コミュニティ (G・H・I・J班)	社会福祉学 (E・F班)	国際文化 (K・L班)	その他 (2014年度以前入学生)	
火						
水						
木						
金						
土						
日						
集中講義						

表の上部で自分のアルファベット班の列を確認します。
 その列に書かれた科目が自分のアルファベット班で履修できる科目、曜日時間となります。
 ◎ 学部共通必修科目
 ★ 専攻必修科目
 ● 専攻選択必修科目
 マークなし 選択科目
 ※科目内容の詳細はシラバスで確認ができます。

3. 履修時間割計画表を使い、以下の手順で時間割を記入します。

履修計画表					
春学期					
曜日	月	火	水	木	金
1限					
2限					
3限					
4限					
5限					
集中講義					
①学部科目の単位		②専攻科目の単位+2		③17.5 履修合計	履修制限 単位
単位		単位		単位	単位

- ① 学部固有科目の**学部共通必修科目(◎)**を記入します。**6 単位**
 「キャリアデザイン」「社会学入門」「現代社会学」
- ② 学部固有科目の**専攻必修科目(★)**を記入します。**2 単位**
 ・社会学専攻⇒「社会調査入門」
 ・コミュニティ学専攻⇒「社会調査入門」
 ・社会福祉学専攻⇒「現代社会と福祉Ⅰ」
 ※社会福祉学専攻学生は「社会調査入門」は選択必修科目ですが、資格取得に必要なため必ず履修してください。
 ・国際文化専攻⇒「文化人類学入門」
- ③ 全学共通科目の**英語の「●●英語リーディング A」と「●●英語コミュニケーション A」**を記入します。
 ・まずは各科目のレベルを選択 ※学生便覧(履修ガイド)「全学共通科目について」ページ参照

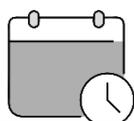
- ・次に各教員の授業内容をシラバスで確認し、履修する科目を選択
 ※履修可能な曜日時限は時間割表で確認してください。
 ※「●●英語リーディング A」で 1 単位、「●●英語コミュニケーション A」で 1 単位です。

- ④ 全学共通科目の**第二外国語の「●●語基礎 A」と「●●語基礎 B」**を記入します。
 ・1 年次は全員、**第二外国語基礎 A・B** を履修しなければなりません。
 ※第二外国語基礎科目は 1 年を通じて授業を行う「**通年科目**」です。通年科目は、単位数を 2 で割った数を、各セメスターの履修登録単位数としてカウントします。
 (例)通年 2 単位の科目は春学期と秋学期に 1 単位ずつが履修登録単位数としてカウントされます。
- ⑤ 全学共通科目の**「スポーツ実技科目」**の時間割を記入します。**1 単位**
 ・1 年次の内に履修するのが望ましいですが、希望者が多い場合抽選となります。
 希望の履修ができなかった場合は次学期に回しても問題ありません。なお、スポーツ実技科目は学期に 1 つまでしか履修できません。
- ⑥ 履修登録制限単位数の残りを**全学共通科目の自然の探求/人間の探求/社会の探求/新領域の科目**で埋めます。
 ※**自然の探求/人間の探求/社会の探求/新領域の科目**は低学年時にできるだけ修得しましょう。

4. CHUKYO ALBO で履修登録をします。

学生便覧(履修ガイド)に示されている各専攻の履修モデル・早見表を参考に履修登録を行います。
 抽選結果を確認して申込した科目が表示されていれば終了です。抽選漏れなどで履修できなかった科目があれば、追加の履修登録を行ってください。

履修登録後、必ず成績表・履修時間割表の PDF をダウンロードして保存する習慣をつけましょう。



<履修登録のスケジュール>

4月2日(木)	6:00~24:00	①履修登録(一次申込)
4月3日(金)	6:00~ 15:00	①履修登録(一次申込)※申込終了時間に注意
4月4日(土)	6:00~24:00	②一次抽選結果開示 ③履修登録(二次申込)
4月6日(月)	6:00~24:00	④二次抽選結果開示 ⑤履修登録修正
4月7日(火)~12日(日)	6:00~24:00	⑥履修修正期間
4月13日(月)	6:00~ 17:00	⑥履修修正期間※申込終了時間に注意

3. 時間割作成チェックリスト

※以下の□にチェックを入れて確認しましょう

1. 学部固有科目の学部共通必修科目(◎)は、選択(登録)できていますか？

<4 専攻共通>

- 「キャリアデザイン」
- 「社会学入門」
- 「現代社会学」

2. 学部固有科目の専攻必修科目(★)は、選択(登録)できていますか？

<社会学専攻>

- 「社会調査入門」

<コミュニティ学専攻>

- 「社会調査入門」

<社会福祉学専攻>

- 「現代社会と福祉Ⅰ」

<国際文化専攻>

- 「文化人類学入門」

3. 学部固有専攻選択必修科目(●)は、選択(登録)できていますか？(社会福祉学専攻のみ)

<社会福祉学専攻>

- 「社会調査入門」

※社会学専攻、コミュニティ学専攻、国際文化専攻は、1年次の春学期に該当科目はありません。

4. 全学共通科目の第二外国語の時間帯・クラスを確認しましたか？

<社会学専攻> <社会福祉学専攻>

- 「●●語基礎 A」火曜日・4 限目、「●●語基礎 B」木曜日・3 限目

<コミュニティ学専攻> <国際文化専攻>

- 「●●語基礎 A」火曜日・3 限目、「●●語基礎 B」木曜日・4 限目

5. 全学共通科目の英語基礎科目は、選択(登録)できていますか？

<4 専攻共通>

- 「●●英語リーディング A」は選択(登録)した。

- 「●●英語コミュニケーション A」は選択(登録)した。

※国際文化専攻は、アドバンス又はインターミディエイトを推奨します。

6. 全学共通科目のスポーツ科目は、選択(登録)できていますか？

<4 専攻共通>

- スポーツ実技科目を選択(登録)した。

7. 上記の科目以外に、全学共通科目の教養基礎科目(自然の探求/人間の探求/社会の探究/複合領域)は、選択(登録)できていますか？

<4 専攻共通>

- 自然の探求/人間の探求/社会の探究/複合領域の科目を複数選択(登録)した。

8. 選択(登録)した科目の総単位数は、23、または 24 単位ですか？

<4 専攻共通>

- 選択(登録)した科目の総単位数は 23、または 24 単位であることを確認した。



■よくある質問

- Q. ●●先生の「倫理学」と▲▲先生の「倫理学」を同時に履修できますか。
- A. **同じ名称の科目を同時に履修することはできません。**
また一度履修をして合格した科目は、教員が違ってても再度履修することはできません。
- Q. 【二次登録・履修修正期間】履修申請で抽選漏れとなった「英語基礎科目」のクラスが、履修申請画面で「定員残り●名」と表示されています。定員に空きがあるのでしょうか。
- A. **上級生定員に空きがあるだけで1年生定員には空きがない場合があります。**
英語基礎科目については、1年生定員と上級生定員をそれぞれ設定しています。「空きあり」と表示されている場合でも、上級生定員に空きがあるだけで1年生定員には空きがない場合があります。落選した科目については、二次履修登録で履修登録しても再度落選してしまう可能性が高いため、別のコマ(レベルを変更するなど)で履修登録をすることをお勧めします。
また、二次履修登録の抽選でも落選した場合は履修修正期間に再度履修登録してください。
- Q. 【履修修正期間】二次抽選で落選した科目があった場合どうしたらいいですか。また、履修が確定した科目を修正して、新しい科目を履修登録することはできますか。
- A. **二次抽選で落選した場合、履修登録修正期間に追加登録を行ってください。**
また、確定した科目についても修正することが可能です。履修登録修正期間で申請した科目は、先着順で、抽選にはなりません。申請できれば確定となります。
- Q. 履修登録した科目が MaNaBo に反映されません。
- A. 履修登録科目は MaNaBo に即時反映されません。
履修修正期間に入ると修正した翌日に反映されるようになります。
- Q. 「単位」とは何ですか。
- A. 各授業の達成目標を達成し、一定以上の成績を修めると、その証明に付与されるものです。
単位は数で表され、学生便覧の科目一覧表内の科目名の後ろにあるカッコの中の数字が、その科目を合格した際に修得できる単位数を表します。現代社会学部を卒業するために必要な単位数は、「124 単位」です。4 年間を通じて必要な科目を履修し合格することで単位を取得し、卒業までに124 単位を修得する必要があります。
- Q. 何単位分履修登録をしたらいいですか。
- A. 履修登録制限単位数内であれば、履修登録する単位数は自由ですが、修業年限での卒業と大学での学修になれるため、低年次では履修可能な単位数分の履修することを推奨します。1 年次の春学期にスポーツ科目を履修する場合、履修登録できる単位の上限(履修登録制限単位)は「23」単位です。例年多くの先輩は23 単位分の履修登録をしています。
- Q. シラバスに掲載されているが、履修申請画面で表示されない科目があります。履修登録画面に表示されている科目のみ申請できるのでしょうか。
- A. 時間割表および履修登録画面に表示されている科目のみ履修申請することが可能です。
例えば、第二外国語科目は、1 年生は時間割記載(学部ごとに指定)の曜日時限のみ履修することが可能ですが、再履修生(上級生)は、その他曜日時限を履修することが可能です。シラバスは再履修生(上級生)用に新生が履修できない曜日時限のクラスも表示されています。その他、クラス指定や履修条件等で一部シラバスに記載されていても、履修登録画面に表示されない科目があるかもしれません。履修登録画面に表示される科目が現在履修申請できる科目となりますので、履修登録画面および時間割表にてご確認ください。
- Q. 第二外国語が希望の言語ではありません。どうしたらいいですか。
- A. 各言語には教育の質を担保するために、定員が設定されています。現在表示されている第二外国語については、厳選な抽選を行った結果によるものです。変更することはできません。
卒業に必ず必要な科目となりますので、現在登録されている言語で受講し修得をしてください。